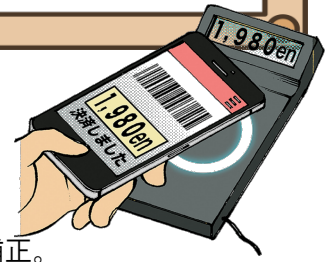


和地ひとみレポート No.385

令和2年度 10回目の最後の補正予算は約2360万円 コロナ関連の交付金により20の事業を実施



■今年度最後の一般会計補正予算

…2月22日から3月12日まで開かれていた令和3年第1回東大和市議会定例会の最終日の本会議には、今年度最後の一般会計補正予算(第10号)が上程され原案どおり可決されました。以前のこのレポートでもお伝えしたように、今年度は新型コロナウイルス感染症対策に関連した国や東京都からの臨時交付金があったため、例年の約2倍の回数の補正予算が組まれることに。今回の10号補正予算は2,357万8千円増額補正で、それを含めた今年度の一般会計予算は449億1,509万3千円と、当初予算321億4,400万円より127億7,190万3千円増加する結果になりました。補正予算で増額となったものは、すべて新型コロナウイルス感染症対策というわけではありませんが、1年間で100億円以上の補正となった大きな要因は、やはり新型コロナウイルス感染症の影響といえます。

…今年度、最後の補正予算(第10号)が生じた主な理由は以下の通りです。また、国や東京都からの交付金の活用方法について、コロナ対策ではない事業に使った自治体が一部報道で取り上げられていましたが、東大和市においては新型コロナ感染症に関連した事業に活用しています。(国と都の臨時交付金の活用については裏面を参照ください)

【令和2年度一般会計補正予算(第10号)が生じた理由】

①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の第3次のうち「国の補助事業の地方負担分」の限度額が示されたことに伴う国庫補助金の増額補正。

→これは事業費の一定割合を国が補助する事業(例えば、事業費の4分の3を国が、4分の1を市が出す等)の市が負担する分の一部を国が負担することとなったことを受けての補正(ただし国の補助金には上限額あり)。

②新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金について、新たな補助金額の案が示されたことに伴う国庫補助金の増額補正。

③普通交付税の算定に用いる基準財政収入額の減少に伴い、減収補てん債を新規計上する。

→基準財政収入額とは標準的な状態で徴収が見込まれる税収入等を一定の方法によって算定した額のことだが、景気の変動等を敏感に受け、年度ごとの税収額の変動が大きい一部の税目については、税収が減額したことを補うために特例として補てん債を起債することができる。この特例により東大和市は令和2年度、補てん債を起債することにした。この元利償還金(≒借り入れの返済)については、後年度、国が75%~100%(税目ごとに割合は違う)を交付税で財源措置してくれる。

④キャッシュレス決済を利用した消費活性化事業の予算に不足が見込まれるため、委託料を増額補正する。

→詳細は後述。

⑤体育施設等の夜間利用中止に対する補償費の増額補正。

⑥職員のテレワークおよびWEB会議用端末等導入事業に使用する端末の調達等が新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度内には困難となったため、その予算を来年度に使用するための繰越明許費に補正する。

■効果を上げた消費活性化事業

…今回の第10号補正予算が生じた理由の『④キャッシュレス決済を利用した消費活性化事業の予算に不足』は、消費活性化事業(キャンペーン)の予算が不足するという事です。このキャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少した市内の小売店等を応援するとともに、感染防止という観点も含め、キャッシュレス決済の普及を促進することを目的として、東大和市が国の臨時交付金を活用して実施したもの。指定のキャッシュレス決済で買い物やサービスを受けた方に対し、支払額の30%をポイント還元するというもので、昨年9月、11月、そして今年1月5日~2月末日までと、計3回実施されました。

…このキャンペーンの第1回となる9月には、その効果については不確かだったこともあり、キャンペーンに参加した市内の小売店舗などは183店舗でした。しかし、利用者の口コミなどによりキャンペーンが好評であるということが広がり、年明けの3回目のキャンペーンの際はキャンペーン参加店舗が368店舗に増加しました。…キャッシュレス決済に対してポイント還元をするという同じような消費活性化事業は、多くの自治体で実施されましたが、その効果については対象店舗やキャンペーンの時期、ポイント還元率などにより、大きく明暗が分かれた結果になりました。

…東大和市は、1回目と2回目キャンペーンでは、キャンペーン期間の1か月のポイント還元対象の上限を1万円の買い物までとし、年明けの3回目は期間が約2か月だったことを受け、還元対象の買い物上限額を1万5000円にアップ。さらに、年明けにこのようなキャンペーンを実施していた自治体が都内で東大和市だけだったことも功を奏し、多くの市外からの買い物客が東大和市の店舗を利用。最終的には、このキャンペーンによる市内の対象店舗でのキャッシュレス決済(≒売上)の合計額は約5億7654万円にもものぼり、キャンペーン参加店舗からも好評を得た効果の高い事業となり、ポイント付与のための予算を補正するまでになりました。

…同様のキャンペーンを実施した近隣市の中には、大手チェーン店舗も対象としたため、多くがそちらに流れ、市内の中小事業者から不評だったばかりか、ポイント付与の費用が予算を大きく上回ったにも関わらず、市内事業者ではなく大手チェーン店に行ってしまったという残念な結果になったところもあるようです。

…同じ交付金を活用した事業も、やり方によって結果が大きく変わります。東大和市には引き続き、効果のある取組みに交付金を活用してほしいと思います。

東大和市における令和3年2月26日時点の令和2年度中の
 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金8億 7,627 万6千円および
 東京都市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金1億 9,463 万9千円の主な充当予定について
 【単位:千円】

	事業内容	事業費	交付金 以外の 特定財源	国 地方創生 (第1次)	国 地方創生 (第2次)	国 地方創生 (第3次)	東京都 特別 交付金	一般財源
1	GIGA スクール構想における端末整備と校内ネットワーク環境整備事業	964,617	402,335	210,143	129,337	8,325	194,639	14,101
2	病児・病後児保育事業 (事業継続に係る対応分)	2,087		2,087				0
3	新型コロナウイルス感染症による 保育施設などの臨時休園等に対する 支援事業	5,973	2,986	2,987				0
4	手指消毒剤・ 消毒用携帯アルコール等の購入	10,000			8,522	548		930
5	市民会館に配備する空気清浄機・ パーティションの購入	1,185			1,010	65		110
6	介護サービス事業所に対する事業 継続助成金の支給事業	14,400			12,272	790		1,338
7	障害福祉サービス事業所に対する 事業継続助成金の支給事業	16,900			14,403	927		1,570
8	売上が減少した事業者を支援対象 とした中小企業者等応援助成金の 支給事業およびキャッシュレス決済 を利用した消費活性化事業	209,789	20,000		152,582	13,811		23,396
9	避難所に配備するパーティション、 可搬式蓄電池等の購入	69,881			59,555	3,833		6,493
10	小・中学校の移動教室と修学旅行 の解約事務手数料	3,531			3,009	194		328
11	小学校における感染予防対策の 備品購入等と換気対策のために 設置する網戸の購入	40,996	15,498		21,730	1,399		2,369
12	中学校における感染予防対策の 備品購入等と換気対策のために 設置する網戸の購入	19,997	7,498		10,653	685		1,161
13	中央公民館の飛沫感染防止用 アクリル板の購入	60			51	3		6
14	図書館の飛沫感染防止用ビニール シート等と図書消毒機の購入	4,609			3,928	253		428
15	学校給食牛乳パック洗浄機等の 購入と洗浄業務委託料、学校給食 提供停止に伴う補償費	7,626	977		5,666	365		618
16	職員のテレワーク環境の整備とネッ トワーク環境の分離に係る経費	126,025			107,402	6,913		11,710
17	昭和病院に対する特別財政支援	28,233			24,061	1,548		2,624
18	高齢者等に対する インフルエンザ予防接種に係る経費	48,905	38,732		8,670	558		945
19	新生児臨時特別給付金事業	43,000			36,646	2,359		3,995
20	市民部窓口に設置する 自動窓口受付システムの購入	14,606			12,448	801		1,357
		1,632,420	488,026	220,954	611,945	43,377	194,639	73,479

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経 WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
 ✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
 〒207-0005 東大和市高木 3-274-2-102